

I 学習計画表の活用の仕方

各教科の学習計画表には、教科ごとの目標や学習の特徴、授業の流れが提示されています。

ここには、その読み方と活用の仕方を示しました。

これを参考にして、今年1年間、どのように学習を進めていくか、自分自身の目標を立てて、計画的に取り組んでいきましょう。

その教科の3年間の学習の流れが載っています。

教科の学習目標

3年間で身につけてもらいたい、各教科の学習の目標が書かれています。

自分自身の3年後のイメージを持ち、日々の学習に取り組んでいきましょう。

3年間の科目構成と学習内容

各教科の6年間を通した科目の構成とその学習内容が書かれています。

学校では、これに基づいて、教科担当の教員間の連携を図り、組織的・体系的に指導することで、みなさんに確かな学力が身につくよう、学習活動を展開していきます。

「科目」と学習内容

各学年で学ぶ教科・科目と、その内容について書かれています。

学年が上がるに従って、どのように進んでいくのかがわかります。

3年間を見通した教科の指導計画（平成23年度入学生）

国語科

I 国語科の学習目標

(1) 言語能力を高めることによって、思考力を伸ばすとともに心情を豊かにする。
 (2) 多様な表現を通して、様々な思想・人物像に触れ、自己の考えを確立し、自己の生き方について考える態度を育成する。
 (3) 優れた国語表現を学ぶとともに、自己の目で確かに対象を捉え、それを国語で適切に表現し伝達できるようにする。
 (4) 言語を愛する能力を身につけるとともに、日本文化の特質を理解し、現代社会を担う者としての良識を養う。
 (5) 古典に触れた世界を鑑賞することによって、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。

国語科の3年間の科目構成と学習内容

学年	科目	単位数	学習内容
1年	国語総合（必修）	計5単位	1 言語能力を養い、文章読解力の向上を目指す。教科書の文章を中心に学習する。
	現代文（必修）	2単位	1 言語能力を高め、文章読解力をさらに高めるために、教科書の文章を中心に学習する。
	古文（必修）	2単位	1 古文に親しみ、読解する能力を身につける。
2年	国語総合（必修）	計5単位	1 言語能力を養い、文章読解力の向上を目指す。教科書の文章を中心に学習する。
	現代文（必修）	2単位	1 言語能力を高め、文章読解力をさらに高めるために、教科書の文章を中心に学習する。
	古文（必修）	2単位	1 古文に親しみ、読解する能力を身につける。
3年	国語総合（必修）	計5単位	1 言語能力を養い、文章読解力の向上を目指す。教科書の文章を中心に学習する。
	現代文（必修）	2単位	1 言語能力を高め、文章読解力をさらに高めるために、教科書の文章を中心に学習する。
	古文（必修）	2単位	1 古文に親しみ、読解する能力を身につける。
4年	国語総合・現代文編（自由選択）	文・文理系 2単位	1 国公立二次・私立大入試に対応する「古文・漢文」の問題演習を行う。
	古文（自由選択）	1単位	1 問題解決能力の向上を目指して、過去の入試問題等を利用して、記述練習を行う。
	国語総合・表現編（自由選択）	文・文理系 2単位	1 小論文入試対策を行う。表現の基礎力が身に付いている者が、さらに表現能力の向上を目指して、過去の入試問題等を利用して、記述練習を行う。

その教科の各科目の1年間の授業計画が示してあります。

学習の到達目標

その学年のうちに、どのような力を身につけてほしいか、教科の到達目標が書かれています。

年間を通して、どのようなことが目標なのか、そのためにどうしたらよいかを考えて、授業に取り組み、学習を進めていきましょう。

考 査

定期考査(テスト)の時期と出題の範囲が書かれています。

家庭学習を含めて、計画的にテストへ向けての準備をしましょう。

学習内容・授業時間数

年間の中で、いつ、どのような学習を、どのくらいするのか書かれています。

1年間の見通しを持って、学習計画を立てていきましょう。

教科名 国語科
科目名 国語総合・現代文
対象 4学年全員

I 学習到達目標

- 1 評論を読み、その論理の展開を捉え、要旨・筆者の主張を的確に読み取る力が高まるようになること。
- 2 小説を読み、作品の構成・登場人物の人物像・主題などを的確に読み取る力が高まるようになること。
- 3 詩歌を読み、国語表現の豊かさを味わいつつ、その作品世界の趣きを感じ取ることができるようになること。
- 4 随想を読み、その作品に示された筆者の感性・人柄・人生観などを読み取ることができるようになること。
- 5 常用漢字表を中心として、漢字の読みかた・書きかたを正確に覚えることができるようになること。

II 授業の進め方(授業形態等)

- 1 国語総合5単位のうち、2単位の時間で学習する。評定は、現代文・古文・漢文の3領域を総合したものとなる。
- 2 課題学習を中心とする。予習確認のための小テストを毎月毎に実施する。また、定期的にノートの提出を求める。
- 3 補助教材については、小テストの実施、定期考査の範囲に含めることによって学習する。

III 教科書・補助教材

教科書 「精選 国語総合」東京書籍 「新版初訂カラー版新国語便覧」第一学習社
補助教材 「音と形で覚える漢字の演習」明治書院 「新版初訂カラー版新国語便覧」第一学習社

IV 学習計画

期	月	単元	学習内容	授業時間数	備考
一学期	春休み	宿題	「教科書」による学習内容		
	4	1学期テスト	評論「愛するという言葉」 P.10～17	P.1～19 音と形による分類 1回～8回	
	5	1学期中盤テスト	評論「水の東西」 P.18～24 小説「羅生門」 P.26～39	P.20～35 音と形による分類 9回～16回	4～6 6～8
	6	1学期期末テスト	詩歌「花のうへ」 P.98～99 「秋の祈」 P.100～102 評論「理解と誤解」 P.46～52 小説「なめとこ山の熊」 P.64～79 詩歌「かぜのひきかた」 P.103～105	P.36～51 音と形による分類 17回～24回	6～10 4～6
	7	夏休み宿題	小説「神楽の手記から」 P.140～164	P.52～79 音と形による分類 25回～38回	
	9	2学期中間テスト	詩歌「十五の心」 P.108～112 小説「花野」 P.80～95 評論「聴くということ」 P.53～62	P.80～97 音と形による分類 39回～47回	4～6
二学期	10	2学期期末テスト	評論「情報伝達」という神話 P.122～127 詩歌「もの記号」 P.128～138	P.98～115 音と形による分類 48回～56回	2～4 6～8
	11	冬休み宿題	詩歌「五輪唄」 P.113～117		2～4
	12	冬休み宿題	表現「君たちに伝えたいこと」 P.182～187	P.116～133 部首による分類 1回～4回	
三学期	1	3学期初めテスト	評論「文明のオロギョー」 P.166～174 評論「断片化する世界」 P.175～180	P.134～151 部首による分類 10回～18回	4～6 6～10
	2	3学期中盤テスト	補助プリント	P.152～185 総合問題	
	3	3学期期末テスト	補助プリント		計 70

評価

各学期定期考査に準拠して(宿題の提出及び宿題テスト・ノート提出・ホウスト)を加味したものを評価の対象とする。
なお平常点の中に「関心・意欲・態度」「思考」「知識・理解」「表現」の観点別の評価を含むものとする。
現代文をこの学期1.0段階評価を行い、学年末には古文・漢文と総合して「国語総合」として成績の評定を行う。

長期休みの宿題

夏期、冬期、春期の各長期休業中に
出される宿題・課題と、その後の確認
テストの有無がわかります。

普段なかなか取り組めないような、長い
休みを活かした課題や、教科の実
力を磨くための、総まとめをする宿題
などが出されます。

また、休み明けには、その成果を確認
するためのテストが行われることもあ
ります。

評 価

成績評価について、書かれています。

どんな力や態度をみるのか、またそのための評価方法や使用する資料の主なものは何か、などが書かれています。